

令和7年度 第1回白馬村図書館協議会 次第

日時：令和7年10月9日(木) 午後2時～
場所：白馬村役場2階 庁議室

1. 開会

2. 挨拶

3. 自己紹介

4. 会議事項

(1) 令和6年度の事業報告・利用状況等について

(2) 第4次図書館基本計画について

5. その他

6. 閉会

第4次白馬村図書館基本計画（案）

令和8年4月

白馬村教育委員会

目 次

<u>第1章 計画の基本的な考え方</u>	1
計画策定の背景と目的	
計画の位置づけ	
計画期間	
計画の構成	
計画の基本理念	
<u>第2章 これまでの取り組み</u>	3
基本方針① 子どもの読書活動の推進	
基本方針② すべての人を開かれ、寄り添う運営	
基本方針③ 成長を支える資料の充実	
基本方針④ 暮らしやまちづくり、課題解決の支援	
基本方針⑤ 多様な人々や団体との協力・連携	
基本方針⑥ 情報の発信と情報技術の活用	
基本方針⑦ 持続可能な運営体制の構築	
<u>第3章 白馬村図書館の現状と課題</u>	●
図書館施設の概要及び運営体制	
図書館の利用状況	
課題	
<u>第4章 計画の基本方針と施策の展開</u>	●
基本方針①	
基本方針②	
基本方針③	
基本方針④	
基本方針⑤	
<u>第5章 基本方針に対する施策推進及び整備</u>	●
施策の推進 / 計画の検証・評価	

第1章 計画の基本的な考え方

■ 計画策定の背景と目的

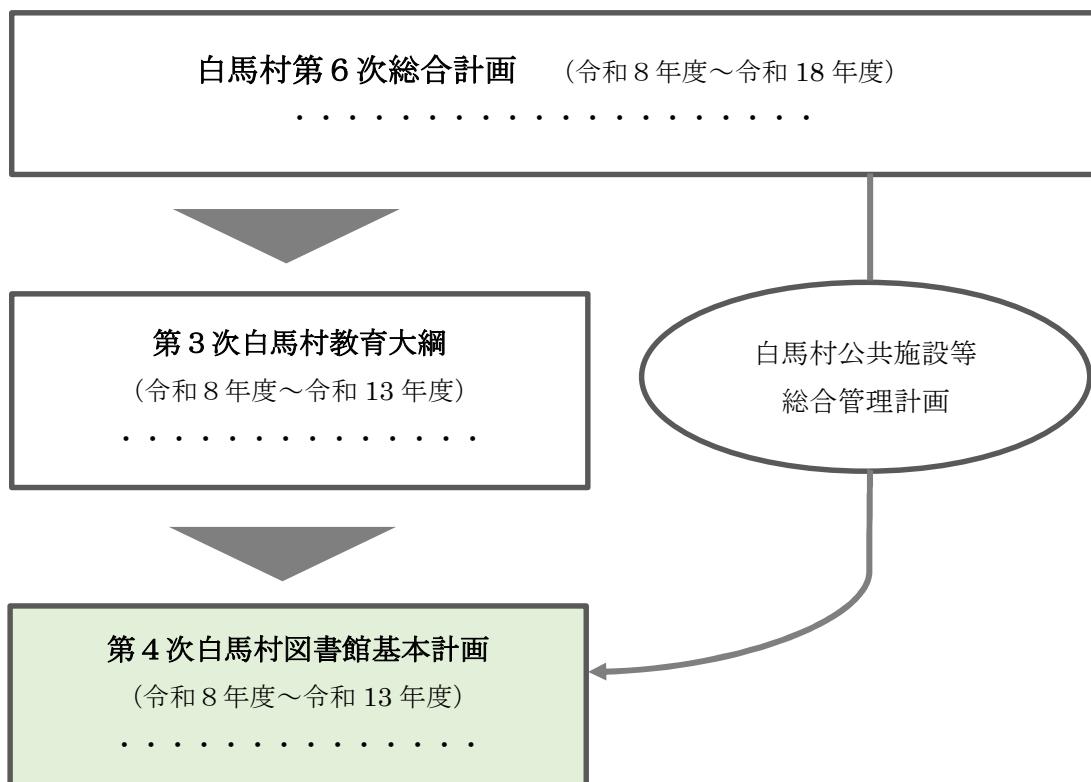
現在の白馬村図書館は、法務局として使われていた施設を後利用する形で供用が開始され、開設から25年以上が経過しています。図書館として建設された施設ではなく、面積が限られていますが、理想的な図書館サービスの提供を目指し、蔵書の収集・増加や図書館システムの導入、北アルプス地域の図書館との広域連携や県との協働電子図書館の活用など、利用者の利便性向上に取り組んできました。

近年、村民を取り巻く環境は日々変化をし、国際化の進展や価値観・ニーズの多様化、インターネットサービスやSNSの普及・発展など新たな課題も出てきています。

現行の第3次白馬村図書館基本計画の計画期間が令和7年度末で終了することから、これまでの図書館事業を振り返り、一層の図書館サービスの向上を図るべく、今後5年間の図書館運営に関する計画を策定するものです。

■ 計画の位置づけ

本計画は、「白馬村第6次総合計画」に基づく分野別個別計画として策定し、白馬村の関連する各種計画・施策と整合を図りながら、今後の図書館運営に必要な具体的施策の基本計画とします。



■ 計画期間

本計画の計画期間は、令和 8 年度から令和 12 年度までの 5 年間とします。

■ 計画の構成

第 1 章：計画策定の背景と目的、計画の位置づけ、計画期間、計画の基本理念

第 2 章：これまでの取り組み

第 3 章：基本方針に対する施策推進及び整備

第 4 章：施策推進体制の整備

■ 計画の基本理念

※白馬村第 6 次総合計画および第 3 次白馬村教育大綱から落としてくる

第2章　これまでの取り組み

現行の「第3次図書館基本計画」では、7つの基本方針のもと様々な施策に取り組んできました。その主な取り組みと成果を示します。なお、第3次図書館基本計画において新たに目標化したものについて、項目欄に「【新】」と記載しています。

■ 基本方針① 子どもの読書活動の推進

テレビやインターネット等の様々な情報メディアの発展・普及や生活環境の変化、さらには幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの読書離れが指摘されています。子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにできるよう、子どもの読書活動推進に向けた取り組みを行ってきました。

〔達成目標の状況〕

項目	目標値（R7）	実績値（R6）
子ども読書推進計画の策定【新】	策 定	次期計画で策定
蔵書冊数に占める児童図書の割合（雑誌視聴覚除く）	約 25%	21%
おはなし会等の開催回数	30 回／年	6 回／年
ヤングアダルト（13～18歳）資料の受入冊数【新】	50 冊／年	42 冊／年

〔取り組みの結果〕

- 令和4年度から、読書に興味を持つきっかけとして読書通帳を作成しました。読書の成果が可視化され、読書の達成感が得られやすく、また記録用として利用できるので、年齢を問わず持ち帰っているのが見受けられました。
- 様々な本を借りてもらうため、「読書bingo」や「読書おみくじ」「目隠し本」等のイベントを行いました。イベント期間中は、毎日来館するお子さんもいました。利用者カードがないと参加できないイベントもあり、課題も残りました。
- おはなし会は、令和3年度に読み聞かせボランティア団体が解散したこともあり、上記のようなイベントに変更して行いました。

■ 基本方針② すべての人を開かれ、寄り添う運営

年齢や国籍、障がいの種類や有無にかかわらず、あらゆる人が利用しやすい図書館運営を目指した取り組みを行ってきました。

[達成目標の状況]

項目	目標値 (R7)	実績値 (R6)
有効登録者数	1,000 人	680 人
新規登録者数	200 人	128 人
人口一人あたりの貸出冊数	5 冊／年	2.8 冊／年
障がい等に配慮した資料点数	150 点	大活字本 111 点
外国語資料の開架冊数	500 冊	942 冊
季節や時事に応じた展示	20 回／年	12 回／年

[取り組みの結果]

- 利用者登録のルールを見直し、一定期間北アルプス自立圏内に滞在される方にも、短期利用者カードを発行し、より多くの方が図書館を利用できるようにしました。
- 市町村と県による協働電子図書館（デジとしょ信州）が、令和4年8月5日からスタートし、24時間いつでも貸出ができ、スマートフォンやパソコン、タブレットで本が読める環境作りを全県で行いました。令和5年には、アクセシブルライブラリー事業がスタートし、視覚障がい者の読書をサポートできるよう取り組んできました。
- 書庫の一部を開放し、誰でも手に取れるように棚を移動させ開架としました。閉架書庫にあった外国語資料や手塚治虫の漫画全集などを、新たに開架とすることことができました。
- 季節や時事に応じた本の展示は、利用者への貸出期間が3週間のため、展示期間の平均が約1.5ヶ月となり、展示スペースの確保や展示方法が課題となりました。

■ 基本方針③ 成長を支える資料の充実

近隣や全国の図書館と比較して蔵書数が少ない状況が長年続いていましたが、購入や寄贈により、資料が増加傾向にあります。保管スペースが限られることから、量だけでなく質を重視することも求められますが、幅広い要望に応えられるよう、資料の収集・保存に取り組んできました。

[達成目標の状況]

項目	目標値 (R7)	実績値 (R6)
資料収集方針・蔵書計画【新】	策 定	一部策定
選書・除籍基準【新】	策 定	一部策定
資料の受入（購入・寄贈）冊数（雑誌・視聴覚含む）	1,500 冊	1,438 冊
新聞・雑誌等の受入タイトル数	8 タイトル	25 タイトル
視聴覚資料所蔵点数	500 点	531 点
郷土資料の蔵書数	4,500 点	3,765 点

[取り組みの結果]

- 資料収集基準、寄贈図書受入基準、資料除籍基準について策定しました。蔵書計画や選書基準については次期計画で引き続き策定に向けて取り組みます。
- 令和3年5月にブックオフと契約し、寄贈された巻数不揃いの資料の補充や不明本、リクエスト本等をよりよく購入することができました。
- 令和4年度から雑誌の予算を確保し、受入タイトル数を増やすことができました。
- 協力図書や北アルプス自立圏内の図書館に問い合わせを行い、郷土資料の収集に努めました。白馬村図書館で郷土資料としなかった資料は、関係自治体に伺い寄贈しました。また「まちの記憶アーカイブ」で郷土資料を新たに作成する予定です。
- 郷土資料は、白馬村と関係が少ない県内関係の図書を一般図書として見直し、また関係自治体へ寄贈し、白馬村により身近な周辺地域の資料のみとしたため、蔵書数が減少しました。

■ 基本方針④ 暮らしやまちづくり、課題解決の支援

図書館は、読書活動の支援だけでなく、暮らしに役立つ情報や、地域課題解決に向けた取り組みに必要な情報等を提供する役割を担っています。必要な人に必要な情報をお届けできるよう、質の高いサービスの提供に向け取り組んできました。

[達成目標の状況]

項目	目標値 (R7)	実績値 (R6)
地域課題等に関する展示	7回／年	1回／年
レファレンス受付件数	1,200件／年	128件／年

[取り組みの結果]

- 地域の課題に関する展示として、神城断層地震を振り返る展示や、防災、接客英語関連の展示を行いました。また多文化や民泊など、地域が抱える懸案事項に留意し、関連資料の選書に務めました。
- レファレンス件数は、資料についての問い合わせ等に内容を絞り、集計を行うとしたため、件数が減少しました。利用者からの問い合わせには、館内の資料のほかに、信濃毎日新聞データベース、レファレンス協同データベースを使用し、県立長野図書館に協力いただき、回答に応じていきました。

■ 基本方針⑤ 多様な人々や団体との協力・連携

多様化するニーズに応えるため、ボランティアや住民団体、関係機関等との連携により、多くの人が図書館運営に参画する「裾野の広い図書館」を目指して取り組んできました。

[達成目標の状況]

項目	目標値 (R7)	実績値 (R6)
ボランティア活動人数	12名	5名
関係機関と連携したイベント・展示の実施【新】	3回／年	2回／年
相互貸借冊数	800件	513件
雑誌スポンサー【新】	5社	0社

[取り組みの結果]

○令和4年度から毎年「あそびまなびフェス」で、令和5年度からは毎年9月に地域包括センターと「アルツハイマー月間」について、同年には氷河調査報告会や青少年育成社会福祉大会で関連本の展示を行いました。

○令和6年度の相互貸借は、借受357冊/貸出156冊でした。この5年間では、他図書館からの取寄せが減少し、他図書館への貸出は増加傾向でした。ブックオフとの契約や、予算の引き上げによる蔵書の増加、雑誌の受入タイトル数の増加により、利用者が多くの資料に触れられました。

○令和5年度に雑誌スポンサー制度がスタートし3件程の問合せがありましたが、提携には至りませんでした。

■ 基本方針⑥ 情報の発信と情報技術の活用

インターネットの環境や端末が普及し、図書館を取り巻く環境が大きく変化してきました。資料をそろえて来館者を待つ受動的な運営ではなく、多様な媒体を利用して積極的に情報を発信することで図書館を身近に感じてもらうとともに、情報技術の活用による利用者の利便性向上に取り組んできました。

[達成目標の状況]

項目	目標値 (R7)	実績値 (R6)
Facebookページ投稿記事数	36件／年	27件／年
Facebookページフォロー数	300人	人
ケーブルテレビ番組製作本数【新】	3本／年	3本／年 (R7)
来館者数	18,000人	10,602人
インターネットによる予約件数	100件／年	494件／年

[取り組みの結果]

- 白馬村図書館の Facebook には、図書館だよりやイベント開催情報、中高生の就業体験の記事等を、月 1 回～ 2 回のペースで投稿しました。
- ケーブルテレビ番組制作は、中学生にも制作に携わってもらい、令和 7 年度に 3 本製作しました。
- 令和 3 年 8 月からインターネット予約を開始し、令和 5 年 4 月のシステム更新により利用者ポータル機能を使えるようにしました。携帯電話で利用者番号をバーコード表示でき、図書カード代わりに利用する方が徐々に増え始めました。

■ 基本方針⑦ 持続可能な運営体制の構築

限られた職員・施設・予算で最大限のサービスを提供できるよう、職員自身の成長を心がけるとともに、廃棄本の削減等、持続可能な社会の実現に向け取り組んできました。

[達成目標の状況]

項目	目標値 (R7)	実績値 (R6)
司書の研修会参加回数	3 回／年	4 回／年
イベント等でのリサイクル本提供【新】	2 回／年	3 回／年
危機管理マニュアル【新】	策 定	策定 (R7)

[取り組みの結果]

- デジとしょ信州の全体会議に毎月、利用者支援広報部会の会議に令和 4 年度・ 9 回、令和 5 年度・ 5 回、令和 6 年度・ 4 回オンラインで出席しました。引き続き、全体会議、部会の会議に出席予定です。
- 北アルプス広域連合の窓口担当者会議、公共施設利用促進専部会等に出席し、システム統合や各図書館の現状について意見を出し合い、課題解決を行ってきました。
- 文化祭と館内で計 3 回 / 年リサイクルブックを実施しました。絵本や不揃いの漫画を提供し、多いときには 5 割程持ち帰られました。
- 令和 7 年度に危機管理マニュアルを策定しました。

第3章 白馬村図書館の現状と課題

■ 図書館施設の概要及び運営体制

(1) 施設概要

開 館 平成 10 年 10 月 8 日
所 在 地 白馬村大字北城 7025 番地（旧長野地方法務局大町支局白馬出張所）
建 築 年 月 昭和 62 年 12 月
構 造 鉄筋コンクリート造
建 物 面 積 1 階 : 285.23 m² 2 階 : 188.58 m² 計 : 473.81 m²
(うち、図書館占有面積 : 398.2 m²)

(2) 運営体制

開 館 時 間 午前 9 時から午後 6 時まで
休 館 日 毎週月曜日、祝日、年末年始、館内整理休館日（毎月最終金曜日）、特別整理休館日（蔵書点検期間）
開 館 日 数 275 日（令和 6 年度 実績）
職 員 司書 3 名（早番・遅番制の 1 日 2 名勤務体制）
蔵 書 冊 数 48,107 冊（開架図書 25,726 冊、視聴覚資料 531 点）
新聞・雑誌 朝日新聞・信濃毎日新聞（1 年間保存）
大糸タイムス（平成 11 年より保存）
白馬新聞（平成 11 年 11 月 5 日～平成 20 年最終号を保存）
貸 出 一人 10 点（うち視聴覚資料 3 点）まで 貸出期限 3 週間まで
貸出対象者 北アルプス地域に住所のある方、白馬村内に通勤・通学している方
団 体 貸 出 村内の団体へ 60 日間 100 冊までの貸出を実施
相 互 貸 借 利用者の求めに応じ、図書館間での貸出借受業務を実施
他 館 連 携 北アルプス地域図書館のどこでも返却可能・相互貸借無料化
レファレンス 対面のほか、電話や文書・電子メールによる質問にも対応
複写サービス 著作権法の範囲内で所蔵資料に限り複写可能（10 円／枚・白黒）
(50 円／枚・カラー)
予約サービス 貸出中の蔵書はインターネットで予約可能
リクエスト 他の図書館からの借用または購入により対応
ボランティア 6 名（整理休館日の蔵書整理・蔵書点検等）
視聴覚資料再生機（DVD プレーヤー） 3 台
利用者用情報検索端末（インターネット端末） 1 台（30 分／回）

■ 図書館の利用状況

		R2	R3	R4	R5	R6
蔵書冊数 (雑誌・AV 除く)	全体	55,757	56,114	52,333	53,047	46,724
	一般・郷土	43,933	44,087	39,484	39,679	35,473
	児童・ヤング・アダルト	10,927	11,111	11,921	12,423	10,309
	外国語表記	897	916	928	945	942
白馬村の人口	4月1日時点	8,795	8,556	8,452	8,566	8,739
来館者数		9,451	8,741	9,398	10,780	10,602
有効登録者	全体	718	711	712	725	680
	うち児童	99	97	107	107	81
	白馬村内	574	658	666	682	620
	うち児童	93	89	105	103	77
貸出冊数		26,687	22,627	25,946	26,934	25,133
相互貸借	借受	423	307	377	353	357
	貸出	81	144	174	139	157

■ 課題

- ・来館が難しい村民への対応（返却ポスト/移動図書館/郵送サービス）
- ・地域資料の計測的な収集保存
- ・地域資料のデジタル化
- ・施設の老朽化
- ・子どもの読書活動の推進

ほか

※図書館運営協議会にてご意見伺いたい

第4章 計画の基本方針と施策の展開

※図書館運営協議会にてご意見伺いたい

※パブコメ

【基本方針①】

〔取り組み事項〕

〔達成目標：令和12年度〕

項目	目標値	備考

【基本方針②】

[取り組み事項]

[達成目標：令和 12 年度]

項目	目標値	備考

【基本方針③】

[取り組み事項]

[達成目標：令和 12 年度]

項目	目標値	備考

【基本方針④】

[取り組み事項]

[達成目標：令和 12 年度]

項目	目標値	備考

【基本方針⑤】

[取り組み事項]

[達成目標：令和 12 年度]

項目	目標値	備考

第4章 基本方針に対する施策推進及び整備

■施策の推進

本計画を推進するためには、白馬村をはじめ村民・関係団体・学校等がそれぞれの役割を認識し、お互いの立場を尊重しながら各施策を進めていくことが重要です。

本村では、多様化する住民のニーズや、日々変化する生活環境を把握しながら計画を推進するとともに、「白馬村第6次総合計画」や関連する各種計画・施策との整合性を図りながら、本計画に掲げた基本方針の取り組み事項を計画的に推進していきます。

■計画の検証・評価

この基本計画を実効性のあるものとするため、その内容や達成目標について、職員による内部点検・評価及び図書館協議会による外部評価を行い、必要に応じて施策や事業、達成目標を見直し、改善を図りながら、より良い図書館運営を目指します。